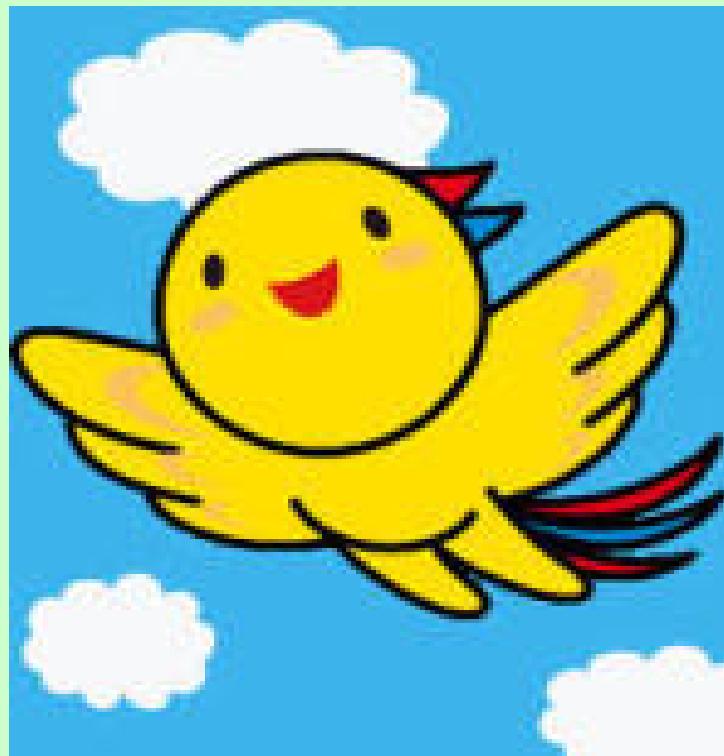


第20回 兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会

実施要綱・参加申し込み案内



兵庫県マスコットはばタン

主 催 兵 庫 県
公益財団法人 兵庫県障害者スポーツ協会
一般社団法人 兵庫県知的障害者施設協会
公益財団法人 兵庫県身体障害者福祉協会
公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会

目 次

・ 実施競技・会場・開催期日	1
・ 知的競技、全体について	2
・ 参加申し込み 知的	6
・ 参加申し込み 身体、精神	8
・ ゼッケンについて	9
・ 競技運営補助者について	12
・ 知的 各競技責任者	13
・ 別紙1 エントリーの流れ	14
・ 別紙2 申し込みフォームの使用方法（知的）	17
・ 別紙3 競技規則 個人競技	22
・ 別紙4 競技規則 団体競技	32

第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会

実施競技・会場・開催期日

I. 大会の目的

平成18年4月の障害者自立支援法施行による3障害のサービス一元化及び平成18年10月開催の全国障害者スポーツ大会「のじぎく兵庫大会」を契機として、身体・知的・精神の3障害が別々に開催していたスポーツ大会を統合し、「兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会」として開催することとなりました。

本大会は、県内の障害者がスポーツを通じて、体力の維持増進と社会参加意欲の高揚を図るとともに、県民の障害者に対する理解と認識を深め、交流を広げることを目的としています。また、本大会は第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり障スポ」の県予選を兼ねて実施します。

II. 実施競技・会場・開催期日 (知的)

実施競技		会場	開催予定日	
個人競技	卓球	県立障害者スポーツ交流館 神戸市西区曙町1070 TEL 078-927-2727	5月9日(土)	少雨決行 荒天の為、競技が中止となつた場合の、競技日の順延又は再設定はありません。
	ボウリング	エリア・ドゥ三田ボウリングセンター 神戸市北区長尾町宅原1937-10 TEL 078-952-0800	5月10日(日) 午後	
	水泳	三木山総合公園屋内プール 三木市福井2474-5 TEL 0794-83-4442	5月17日(日)	
	陸上競技	県立三木防災公園陸上競技場 三木市志染町三津田1708 TEL 0794-85-8408	5月23日(土)	
	フライングディスク	県立三木総合防災公園第2陸上競技場 三木市志染町三津田1708 TEL 0794-85-8408	5月23日(土)	
団体競技	ソフトボール	県立三木総合防災公園野球場・多目的広場 三木市志染町三津田1708 TEL 0794-85-8408	5月23日(土)	荒天の為、競技が中止となつた場合の、競技日の順延又は再設定はありません。
	サッカー	県立三木総合防災公園第二球技場・ 陸上競技場 三木市志染町三津田1708 TEL 0794-85-8408	5月23日(土)	
	バレーボール	男子 県立障害者スポーツ交流館 神戸市西区曙町1070 TEL 078-927-2727	5月16日(土)	
	バスケットボール	男子 県立障害者スポーツ交流館 神戸市西区曙町1070 TEL 078-927-2727	5月16日(土)	

※ この大会は、県内の障害者が、スポーツを通じて体力の維持増進と社会参加意欲の高揚を図るとともに県民の障害者に対する理解と認識を深め、交流を広げることを目的としています。

なお、本大会の正式種目の記録は、全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり障ス」（2026年10月23日～26日青森県にて開催）への派遣選手の選考に使用する記録となります。

※各競技に関するお問い合わせは、13ページに掲げる各競技責任者又は一般社団法人兵庫県知的障害者施設協会事務局（TEL 078-862-6026）までお願ひいたします。

（身体、精神）

実施競技		会場	開催予定日	
個人競技	卓球 (精神)	県立障害者スポーツ交流館 神戸市西区曙町 1070 TEL 078-927-2727	5月8日（金）	屋外競技 少雨決行 荒天の 為、競技が 中止とな った場合 の、競技日 の順延又 は再設定 はありま せん。
	卓球 (身体)	県立障害者スポーツ交流館 神戸市西区曙町 1070 TEL 078-927-2727	5月9日（土）	
	ポッチャ	県立障害者スポーツ交流館 神戸市西区曙町 1070 TEL 078-927-2727	5月10日（日）	
	水泳	三木山総合公園屋内プール 三木市福井 2474-5 TEL 0794-83-4442	5月17日（日）	
	陸上競技	県立三木防災公園陸上競技場 三木市志染町三津田 1708 TEL 0794-85-8408	5月23日（土）	
	フライングディスク	県立三木総合防災公園第2陸上競技場 三木市志染町三津田 1708 TEL 0794-85-8408	5月23日（土）	
	サウンドテーブルテニス	県立障害者スポーツ交流館 神戸市西区曙町 1070 TEL 078-927-2727	5月24日（日）	
団体競技	バレーボール (精神)	県立障害者スポーツ交流館 神戸市西区曙町 1070 TEL 078-927-2727	5月15日（金）	

III. 知的

1. 競技種目（各男女）

(1) 正式種目

<個人競技>

○陸上競技………50m走（タイムレース）、100m走、200m走、400m走、800m走

1500m走、400m(4×100m)リレー、走り幅跳び、立ち幅跳び
走り高跳び、ソフトボール投、ジャベリックスロー
○フライングディスク………ディスタンス、アキュラシー(ディスリート5・ディスリート7)
○水泳………自由形(25m、50m)、平泳ぎ(25m、50m)、背泳(25m、50m)
バタフライ(25m、50m)、200m(4×50m)リレー
○卓球 ○ボウリング(通常エントリー)

<団体競技>

○バレーボール ○バスケットボール ○ソフトボール ○サッカー

(2) オープン種目

- ・陸上競技………50m走(タイムなし。介助なし・介助有り)
- ・ボウリング(オープンエントリー)

2. 競技運営

(1) 個人競技

- ア 競技は、原則として男女別に実施します。ただし、フライングディスクのアキュラシー種目は除きます。
- イ 陸上競技の投てき種目については、原則として試技回数を3回とします。
- ウ ボウリング(通常エントリー)については、デュアルレーン方式(アメリカンスタイル)とします。スクラッチ2ゲームとし、その合計点で順位を決定します。
- エ 原則として、競技の組は8名以内とし予選を行わず、1回の決勝競技とします。
- オ 出場者が少ない競技・種目は、異なる障害区分の選手または他の年齢区分の選手が同時に競技を行うことがあります。この場合、順位の決定及び表彰は、障害区分及び年齢区分別に行ないます。

(2) 団体競技

- ア バスケットボール(知的)及びバレーボール(知的)は男女別、他の競技は男女混合を可とします。
- イ 試合は、原則としてトーナメント方式とし、3位決定戦を実施します。

(3) 年齢区分

各個人競技は、フライングディスクを除き年齢(2026年4月1日現在)を次の各部に分けて競技するものとします。

- ア 知的障害者 少年の部(19歳以下)、青年の部(20歳~35歳)、
壮年の部(36歳以上)

(4) 競技用具

原則として主催者側が用意いたします(ボウリングは除く)。

ただし、次の競技に出場する選手・団体は各自で必要な用具を用意して下さい。

○水泳…水着・スイミングキャップ・ゴーグル

- 卓 球…ラケット・練習用のボール、白以外の服装
- ソフトボール…グローブ・バット・ヘルメット・補手用のレガース・プロテクター
- サッカー…すねあて
- バスケット…背番号4~15
- バレーボール…リベロ設定時は区別できる服装

(5) 招集開始・完了時刻

選手の招集時間は原則として大会プログラム(後日配布)の時刻といたします。なお、招集完了時刻に遅れた選手は棄権したものとみなします。

ただし、陸上競技及び水泳競技に出場する選手でリレーにも出場する選手は競技時間の都合で招集時間に間に合わない場合は付添い者が代理で受け付けするものといたします。

(6) 競技規則

適用する競技規則は全国障害者スポーツ大会競技規則に準じ、大会運営委員会申し合わせによります。

(7) 抗議

- ア 競技上の抗議は、全国障害者スポーツ大会競技規則に定めるところによります。
- イ 選手の出場資格、組合せ及び障害区分の適用については、抗議することはできません。

(8) 競技場への入退場

- ア 役員の指示に従って下さい。
- イ フィールド・コート内での写真・ビデオ撮影はご遠慮下さい。

3. 大会参加・選考基準

(1) 大会参加資格

大会に参加できる選手は、次の各号の条件を満たす者とする。

- ① 知的障害者は、厚生事務次官通知(昭和48年9月27日厚生省発児第156号)による療育手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者。
- ② 兵庫県内(神戸市を除く)に現住所を有する者、又は兵庫県内(神戸市を除く)の施設や学校等に入所及び通所並びに通学している者。
- ③ 2026年4月1日現在、6歳以上の者。

ただし、12歳以下の者については、オープン参加とする。

- ④ 刺青・タトゥーがある者は、スポーツウェアやラッシュガード、テープ等で見えないようにしていること。

(2) 全国大会兵庫県派遣選手選考基準

① 兵庫県選手参加資格

兵庫県選手として参加できる選手は、本大会の参加選手資格を満たす者のうち、次の各号の条件を満たす者とする。

- ア 令和8年4月1日現在、13歳以上の者
- イ 兵庫県内（神戸市を除く）に現住所を有する者、又は兵庫県内（神戸市を除く）の施設や学校等に入所及び通所並びに通学している者
- ② スポーツを通じた障害者の社会参加促進をめざし、出場選手全体に占める初出場枠2分の1以上確保
- ③ 兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の記録と全国大会最高記録との対比結果等を基にした選考
- ④ 再出場については、競技力向上に向け、各競技の特性、これまでの出場回数及び若手選手育成の観点等を踏まえ選考
- ⑤ 2年連続出場の場合、原則として、翌年度の大会は選考対象としない
(第19回全国障害者スポーツ大会（茨城県）、第20回全国障害者スポーツ大会（鹿児島県）及び第21回全国障害者スポーツ大会（三重県）は、中止となったことから、出場には含めない)
- ⑥ 障害別、男女別の選手構成は、全国大会参加枠を踏まえ、兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会（以下「のじぎくスポーツ大会」という）の参加者数などに応じ配慮する
- ⑦ 各競技の特性を踏まえ、地域性、年齢別の選手構成にも配慮する
なお、団体競技については、原則として本大会の優勝チームが全国障害者スポーツ大会団体競技近畿地区予選会に出場し、優勝した場合のみ全国大会へ出場できる。
- ⑧ 兵庫県代表選手の自覚を持ち、正々堂々と全力を尽くして競技ができる者
- ⑨ 兵庫県選手団として、ふさわしい団体行動がとれる者（選手のみならず、監督、コーチ、介護人等の選手団スタッフについても適用）

※上記基準により選考資料を作成し、各競技団体等の意見を踏まえ、選考委員会で決定する。

※上記基準によりがたい事情がある場合は、別途選考委員会で協議する。

【参考】全国大会出場種目

	個人競技					団体競技			
	陸上	水泳	卓球	フライグデイスク	ボウリング	バスケットボール	ソフトボール	バーレーボール	サッカー
知的	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 団体競技は近畿大会を勝ち抜いた場合に全国大会に出場

4. 表彰

- ア 2 競技運営(1)に従い、各競技種目の各組毎に1位から3位までの選手にメダルをお渡しいたします。
- イ 陸上競技介助ありなしの50m走については、完走証をお渡しいたします。
- ウ 陸上と水泳のリレー競技の優勝、準優勝、3位のチームには表彰状とメダルを授与します。また団体競技の優勝チームには知事杯（持ち回り）を、優勝、準優勝、3位のチームには表彰状を、選手にはメダルを授与します。

エ 表彰式は、種目終了後又は競技終了後ただちに行います。なお、陸上競技の介助ありなしの50m走完走証は、ゴール時点でお渡し致します。また、4×100mリレーの表彰は閉会式にて行います。

5. 参加申し込み

(1) 申し込み方法 知的(フォーム使用方法については別紙2 (P17)を確認してください)

(個人競技)

ア 兵庫県電子申請共同運営システム(e-ひょうご)にて、申込内容を入力。
「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【知的・個人競技：選手団情報】」及び「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【個人競技：選手情報】」の両方に入力すること。

※申込URL

「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【知的・個人競技：選手団情報】」
<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1753160725094>

「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【知的・個人競技：選手情報】」
<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1753151082809>

(団体競技)

ア 兵庫県電子申請共同運営システム(e-ひょうご)にて、申込内容を入力。
「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【知的・団体競技】」に入力すること。

※申込URL

「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【知的・団体競技】」
<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1753160748611>

イ 提出書類上記アのURLに各競技の参加申込書(Excel)を添付して提出すること。

・知的障害者の部団体競技申込書

(※バスケットボールのメンバー表については、大会当日、大会本部に提出すること)

(2) 申し込み期限

団体・個人競技共

令和8年2月20日（金）必着

(2026年)

(3) お問い合わせ先

(知的) 一般社団法人 兵庫県知的障害者施設協会

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター内

(TEL) 078-862-6026 (FAX) 078-862-6082

(Mail) kenchikyo.nojigiku@gmail.com(大会専用)

(4) 申し込み後の変更 原則として申し込み締切後の変更は認めません。

(5) 申し込み上の留意事項

大会参加にあたっては、事前に医師の診断・診察を受ける等、参加者の健康・安全には十分配慮して下さい。

(6) その他

ア 申し込みの際、大会当日の競技運営補助者（運営スタッフ）を各申し込み選手数の規模に応じて選出して下さい。

イ 申し込みは1人につき1競技1種目のみとします。

なお、陸上競技及び水泳の参加者は、それぞれのリレーにも参加できます。

ウ 大会当日は、記録撮影等を行うため、選手の氏名・写真等が各種機関誌等に掲載されることがあります。

参加申込書に氏名の記載がある選手は、その旨、あらかじめ御了承いただいたものとみなします。

エ 来年度の入学が決まっている新一年生に関しましては、氏名の欄に「新一年生」とご記入のうえ、エントリーをお願いします(個人競技のみ)。その後、4月17日（金）までにエントリーする方の氏名をFAXで送付してください。(FAX 078-862-6082 一般社団法人 兵庫県知的障害者施設協会)

尚、この方達のエントリー登録は行われますが、競技プログラムに氏名は反映されないことをご了承ください。

※複数名いる場合は「新一年生1」「新一年生2」と記載してください

6. 参加料

原則無料。ただしボウリング競技については、参加者一人につき ゲーム代 ￥900(貸靴代 無料)を負担していただきます。当日会場にて徴収しますので、つり銭の要らないようご準備願います。マイボール、マイシューズの利用は可能です
また、以下についても自己負担願います。

- ・ 全競技について会場までの交通費(運行ピストンバス利用の場合は無料)・昼食代
- ・ 駐車料金（有料のところ）・会場のロッカ一代

7. 雨天時

大会当日が荒天の場合、競技を中止とする場合があります。少雨の場合は全競技を決行いたします。中止となった競技日の順延や再設定はありません。感染症等の急拡大やその他不測の事態が起こった場合も中止することがあります。

実施の有無は主催者側で判断し、(公財)兵庫県障害者スポーツ協会のブログ(<https://ameblo.jp/hyogo-parasports-assoc>)及び当日早朝のAM神戸(ラジオ関西)の放送で告知します(ブログ:全競技(中止の場合のみ)、ラジオ:野外競技)。AM神戸の放送時間は、例年午前5:50~6:00の間ですが、後日開催予定の大会事前説明会で改めてご案内させていただきます。

8. 救急

陸上競技を主としたメイン会場と水泳会場には医師・看護師を配備しますので、救急処置を必要とする場合、その他健康上の問題が生じた場合には会場内の競技スタッフにお申し出て下さい。

9. 保険

大会当日は主催者側において、選手及び競技運営関係者を対象にレクリエーション傷害保険に加入いたします。保険内容は競技中の傷害について医療機関への受診日数に応じた一定額が支払われます。

IV. 身体、精神

参加申し込み

(1) 申し込み方法(フォーム使用方法については別紙を確認してください)

ア (個人競技：身体 (サウンドテーブルテニス除く))

兵庫県電子申請共同運営システム (e-ひょうご) にて、申込内容を入力。

「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【身体・個人競技：選手団情報】」及び「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【身体・個人競技：選手情報】」の両方に入力すること。

※申込URL

「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【身体・個人競技：選手団情報】」

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1753160908536>

「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【身体・個人競技：選手情報】」

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1761793012213>

例：選手5名出場の場合、選手団情報を1回、選手情報を5回（5人分）申請する

イ (個人競技：サウンドテーブルテニス※) ※以降 STT

兵庫県電子申請共同運営システム (e-ひょうご) にて、申込内容を入力。

「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【身体・STT：選手団情報】」及び「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【身体・STT：選手情報】」の両方に入力すること。

※申込URL

「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【身体・STT：選手団情報】」

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1764739672667>

「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【身体・STT：選手情報】」

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1764743363931>

(個人競技：精神)

ウ 兵庫県電子申請共同運営システム (e-ひょうご) にて、申込内容を入力。

「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【精神・個人競技：選手団情報】」及び「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【精神・個人競技：選手情報】」

の両方に入力すること。

※申込URL

「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【精神・個人競技：選手団情報】」
<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1753160784447>

「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【精神・個人競技：選手情報】」
<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1761878003121>

工（団体競技）

兵庫県電子申請共同運営システム（e-ひょうご）にて、申込内容を入力。

「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【精神・団体競技】」に入力の上、参加申込書様式6号を添付すること。

※申込URL

「第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【精神・団体競技】」

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1753160870780>

（2）申し込み期限

令和8年2月20日（金）

（3）問い合わせ先

（身体・精神）公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号兵庫県福祉部ユニバーサル推進課内
TEL：078-362-3280、FAX：078-362-9040、MAIL：universal@pref.hyogo.lg.jp
※問い合わせの際はどの競技についてか、お申し出ください

（STT）社会福祉法人兵庫県視覚障害者福祉協会

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1番1号

社会福祉法人兵庫県視覚障害者福祉協会（県福祉センター内）

TEL 078-222-5556 FAX 078-222-5564

兵庫県HPに要綱、要領等掲載しておりますので、そちらも必ずご確認ください

Ⅴ. ゼッケン

（1）知的のゼッケン

原則としてゼッケンおよび腰ゼッケン（トラック競技[50m走介助有り無しを除く]）のない場合は競技に参加できませんのでご注意ください。個人競技に出場する選手は競技服装に必ずゼッケンをつけてください。ゼッケンは布地を使い、知的障害の部は白地に黒文字で書き、外枠を年齢層別に色分けしてください。（はがれない様注意）

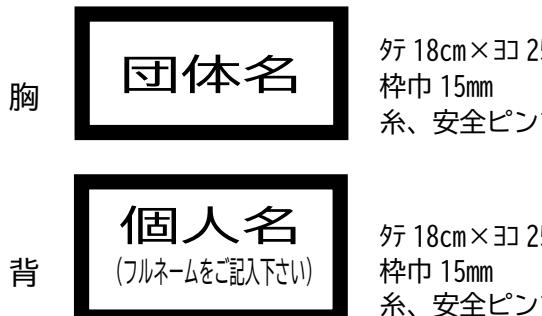
※ゼッケンの文字および番号は黒太字（1.5cm以上）で記載してください。

※陸上競技のうちトラック競技（50m走介助有り無しを除く）については腰ナンバーカードを着用していただきます。詳細は、大会事前説明会にて説明いたします。

※水泳競技の場合は水着以外の上着等に付けてください。

ゼッケン見本

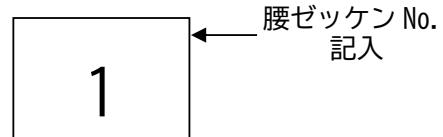
《個人競技》



タ 18cm × ハ 25.5cm
枠巾 15mm
糸、安全ピンで装着

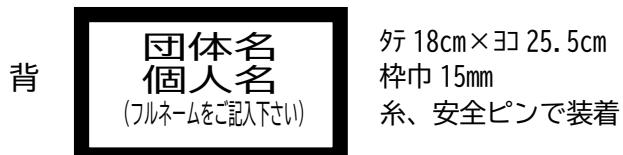
《腰ナンバーカード》(使用種目)

50m タイムレース、100m、200m、400m、
800m、1500m、4×100m リレー



タ 12cm × ハ 18cm 布製
4カ所を安全ピンで右腰に装着
腰ナンバーカードが記載する番号は
大会本冊子（後日配布予定）を参照のこと。

《水泳競技》



タ 18cm × ハ 25.5cm
枠巾 15mm
糸、安全ピンで装着

【年齢層別色分け】

少年 (19歳まで) 赤
青年 (20~35歳まで) 枠無し
壮年 (36歳以上) 緑

(2) 身体・精神のゼッケン

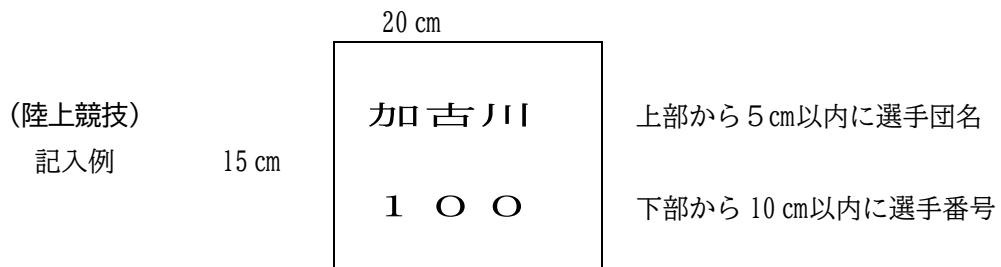
○ゼッケンの布色

- ・ 肢体不自由者 桃色
- ・ 視覚障害者 薄緑色
- ・ 聴覚・言語障害者 黄色
- ・ 内部障害者 水色
- ・ 精神障害者 薄茶色

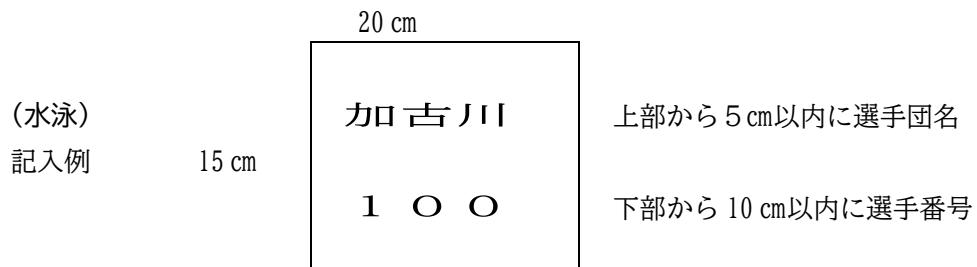
※ゼッケンの文字および番号は黒太字（1.5cm以上）で記載してください。

※各色のゼッケン布は事前説明会で配布予定。ただし陸上の腰ナンバーカード（白色）は各自で用意してください。

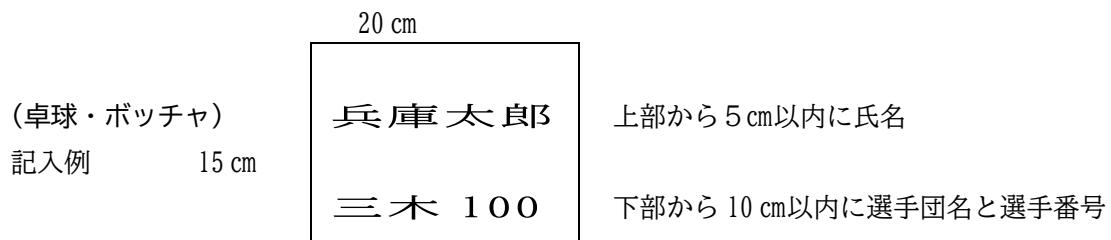
○ゼッケン記載方法（身体及び精神） **※身体・精神はゼッケン番号あり**
(大会本冊子（後日配布予定）を参照のこと)



※胸と背に糸、安全ピンで装着（計2枚）

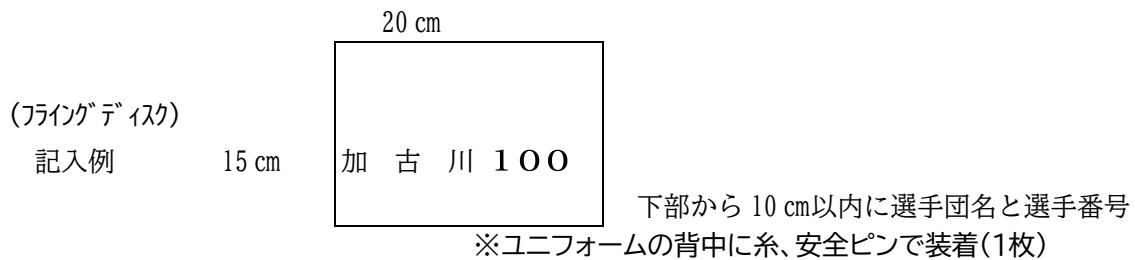


※水着以外の上着に糸、安全ピンで装着（1枚）



※卓球はユニフォームの背中に糸、安全ピンで装着（1枚）

※ボッチャは胸と背に糸、安全ピンで装着（計2枚）



兵庫県・事務局からボランティアのお願い

第5回大会から、知的障害・身体障害・精神障害のスポーツ大会を合同開催しており、のじぎくスポーツ大会も今年で20回目を迎えます。

皆様の協力の下、大会を運営できていますが、近年、ボランティアとしてご協力いただいております「競技運営補助者」が大変不足しております。

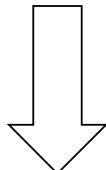
円滑な大会運営を今後も続けて行くため、皆様のより一層のご協力をお願いしたいと思います。つきましては、

参加選手10名に対してボランティア1名を必ず選出

していただきたくお願い申し上げます。（なお、9名以下の団体におきましても、ボランティアのご協力を賜りますと非常に助かります。）

※ご注意! ボランティアの方は、役割が割り当てられ、終日本部付けとなりますので、引率者とは異なる方をお願い致します。

皆様のご協力を切にお願い申し上げます。



ボランティアの記入は参加申し込みフォーム（知的選手団情報）の競技運営補助者の欄にご記入お願い致します。ご希望の日・種目があれば合わせてご記入下さい。それを参考に兵庫県と事務局にて割り振らせて頂きますが、必ずしもご希望通りにいかない場合があることをご理解ください。

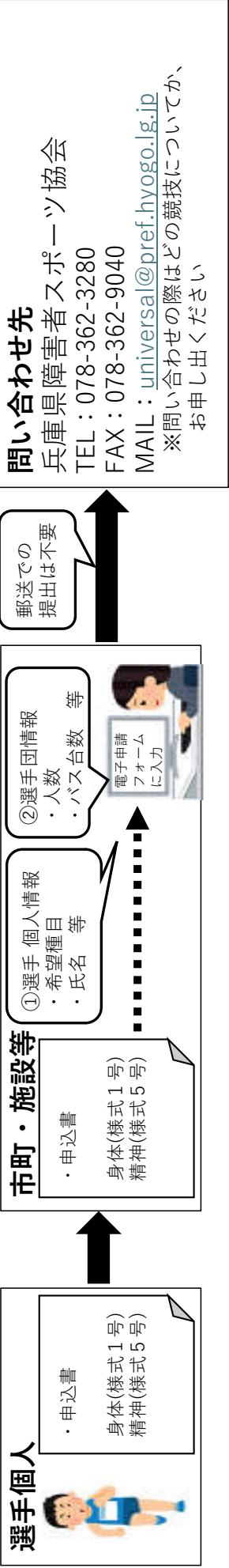
知的 各競技責任者

※ 競技、ルール、エントリー申し込みに関するお問い合わせは、下記競技責任者まで直接ご連絡ください。

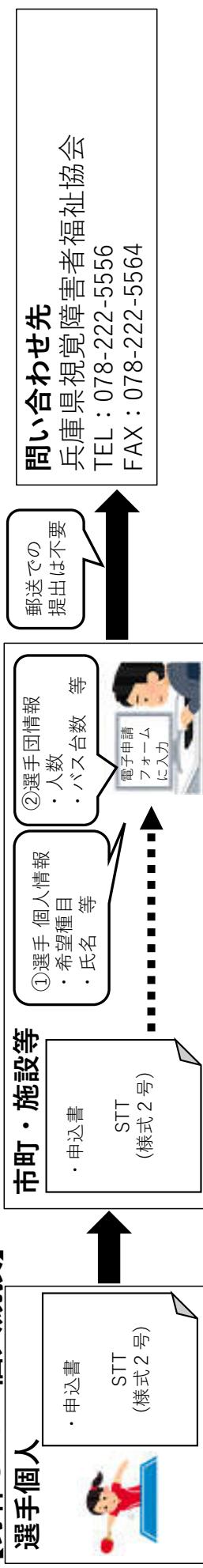
競技種目	所属	氏 名	TEL・FAX・メール
陸上競技	尼崎武庫川園	寺西 良介	☎ (0798) 52-6999 FAX (0798) 52-6949 ✉ r-teranishi@amagasakimukogawaen.or.jp
フライングディスク	パレットたつの	森田 修弥	☎ (0791) 67-1881 FAX (0791) 67-1882 ✉ pr-tatuno@guitar.ocn.ne.jp
水泳	あすかの家	光武 秀之	☎ (079) 275-2281 FAX (079) 277-2049 ✉ info@asuka-kai.jp
卓球	加西市立善防園	松原 歩	☎ (0790) 48-3999 FAX (0790) 48-4037 ✉ zemboen@kasai-syakyo.or.jp
ボウリング	明石市立木の根学園 ひまわり工房	宮崎 祐一	☎ (078) 918-5575 FAX (0798) 918-5576 ✉ info-kinone@meioukai.com
バレーボール	こばと園	岡田 幹代	☎ (079) 495-1965 FAX (079) 495-2364 ✉ kobatokai@lily.ocn.ne.jp
バスケットボール	サポートセンター まつば	山元 拓馬	☎ (06) 6481-7959 FAX (06) 6481-7794 ✉ t-yamamoto@fukuseikai.or.jp
ソフトボール	一羊園	山岡 賢治	☎ (078) 904-3835 FAX (078) 904-3424 ✉ ichiyouen-5@ichiyou-kai.or.jp
サッカー	ドリーム甲子園	原 良介	☎ (0798) 42-6510 FAX (0798) 42-6511 ✉ dori-mu@enshokai.or.jp
記録	社会福祉法人 陽気会	澤村 友也	☎ (078) 982-9598 FAX (078) 982-7110 ✉ sawamura@youkikai.or.jp

兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【個人競技】 エントリーの流れ

【身体・精神：個人競技】



【身体STT：個人競技】



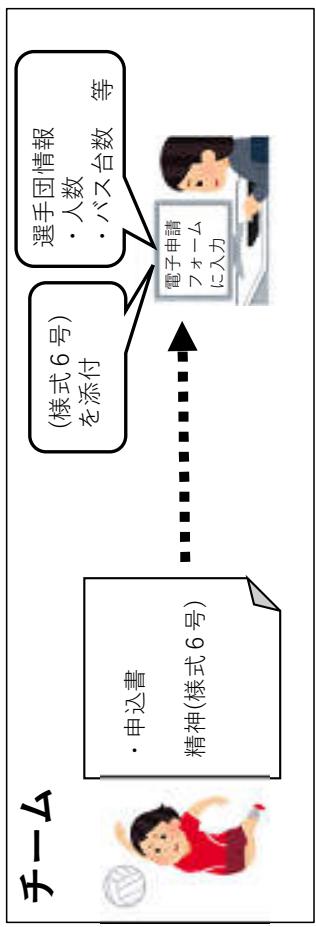
【知的：個人競技】



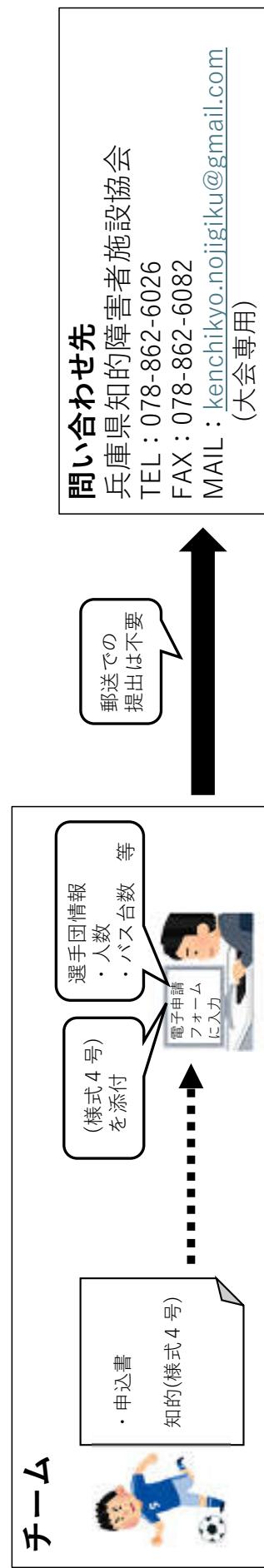
※氏名に外字（パソコンで変換できない文字等）がある場合は【様式7号】も電子申請フォームで提出

兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【団体競技】 エントリーの流れ

【精神：団体競技】 バレーボール



【知的：団体競技】 サッカー、ソフトボール、バスケットボール、バレーボール



※氏名に外字（パソコンで変換できない文字等）がある場合は【様式 7 号】も電子申請フォームで提出

電子申請フォームの使用方法について

【例：身体の場合】

- ①『身体・個人競技：選手団情報』に選手団名等入力
(1度のみ)

- ②『身体・個人競技：選手情報』に選手名等入力
(人数分)

【共通事項】

- 申し込み内容を保存したい場合は「申し込み内容の確認に進む」の次画面の「申し込み内容確認」の画面で《印刷用画面を開く》より印刷する等で保存してください。

- 登録完了後に画面に表示される「到達番号」及び「問合せ番号」を必ず控えておいてください。

- 申し込み完了後に内容を保存しておらず、内容の確認が必要になつた場合は下記URLへ「到達番号」及び「問合せ番号」を入力し、内容を確認することができます。

- 申し込み完了後に修正が必要になつた場合は、下記URLへ「到達番号」及び「問合せ番号」を入力し、「取り下げ」後、再度申し込みをおしてください。

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/dInquireAppByID.do>

- 「到達番号」及び「問合せ番号」を控えておらず、修正が必要になつた場合は再度申し込みをしなおしてください。その際、1度目に入力した内容を破棄して欲しい旨、(公財)兵庫県障害者スポーツ協会へメールでご連絡ください。

- 一時保存する場合、一時保存後に画面に表示される「一時保存番号」、「再開用URL」、各自設定した「再開用パスワード」を控えておいてください。「再開用URL」を控えていなかつた場合、下記URLに「一時保存番号」、「再開用パスワード」を入力することで再開することも可能です。

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/dResumeStart.do?applyTempNo>

申し込みフォームの使用方法(兵庫県電子申請フォーム使用)知的の場合

今回大会については兵庫県電子申請フォームを使用いたします。事務の効率化を目的としており、ご利用よろしくお願ひいたします。(前回大会よりペーパーでの申請はなくなり、電子申請のみとなりました) 以下の手順でご使用ください。

●エントリーには最低 2 つの登録等が必要です。

① 第 20 回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【知的:個人競技:選手団情報】

個人競技に参加する団体としての登録で、複数種目への出場であっても団体としては1つの登録で結構です。

ただし、全競技分漏れがないようにご入力ください。

② 第 20 回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【知的:個人競技・選手情報】

個人競技の参加選手に関する登録(申し込み)です。参加選手個々にご入力ください。

③ 第 20 回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【知的・団体競技】

団体競技(バレーボール、バスケットボール、ソフトボール、サッカー)の参加選手等に関する登録(申し込み)です。

例 A 団体に所属する選手 15 名が陸上に 3 名、水泳に2名バレーに 10 名(1チーム) 参加する場合、

① の【知的・個人競技:選手団情報】に登録し、

② の【個人競技・選手情報】申し込みで、陸上に3名分、水泳に2名分を登録し、

③ の【知的・団体競技】申し込みでバレーに 1 チーム分(選手登録10名)を ~~申し込み~~ 登録し、 参加申込書(選手一覧)を作成しファイル添付する。

つまり、①②③計3つの電子申請フォームへの登録が必要ということになる。

●申し込みフォーム、参加申込書の URL については以下のとおり

① 第 20 回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【知的・個人競技:選手団情報】

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1753160725094>



② 第 20 回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【知的・個人競技:選手情報】

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1753151082809>



③ 第 20 回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会【知的・団体競技】

(バレー、バスケットボール、ソフトボール、サッカー)

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1753160748611>



団体競技申込書については下記兵庫県 HP よりダウンロードしてください。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/20nojigikusportstaikai.html>



●陸上競技及び水泳・バスケットボールについて

・陸上競技のリレーに出場する場合は大会当日、「リレオーダー用紙」を招集場所で提出してください。

・水泳のリレーに出場する場合は大会当日、「リレオーダー用紙」を受付で提出してください。

・水泳の誓約書について

水泳に出場する選手については誓約書を提出していただきます。(今回より誓約書原本の提出ではなく、申し込みフォームの入力の中で誓約に関する項目を設けています)

・バスケットボールに出場する場合は、大会当日にメンバー表(ゼッケン明記)を大会本部へ提出してください。

・リレオーダー用紙及びメンバー表については下記兵庫県 HP よりダウンロードしてください。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/20nojigikusportstaikai.html>

●その他

・申し込みフォーム等については、兵庫県知的障害者施設協会ホームページ(<https://www.hyogo-kenchikyo.or.jp/>)にも掲載していますのでご確認ください。

・当申し込みフォームは、兵庫県電子申請フォームを使用しています。お使いの PC 環境等により使用できない場合や、知的部門に関するエントリー方法、ご質問等は、兵庫県知的障害者施設協会にお問い合わせください。

・エントリー申込に関しては、下記「競技エントリー留意事項」を参考にしてお申し込みください。

競技エントリー 留意事項

競技	種 目	エントリーに際しての目安	その他・留意点
陸上競技	50m走 A タイムレース	セパレートレーンを厳守して 50mを完走できる選手 男女各2名以内。(3位までメダル有り)	<p>左記の条件を満たさない場合でエントリーを希望する方は、特記事項に入力してください(ただし希望に添えない場合もあります)。</p> <p>自己記録のある方は入力して下さい。</p>
	50m走 B 介助なし(オープン種目)	選手単独でスタートからゴールまで走ることができる選手。 男女別にエントリーすること	
	50m走 C 介助あり(オープン種目)	介助者と一緒に走ることができる選手 男女別にエントリーすること	
	100m走	男子:16 秒以内 女子: 18 秒以内に完走でき、セパレートレーンを厳守できる選手。	
	200m走	男子 40 秒・女子 50 秒以内で完走でき、セパレートレーンを厳守できる選手。	
	400m走	男子2分・女子2分 30 秒以内で完走でき、セパレートレーンを厳守できる選手。	
	800m走	男子4分 30 秒・女子5分 30 秒以内で完走できる選手。	
	1500m走	男子8分・女子 10 分以内で完走できる選手。	
	4×100mリレー	1 団体 2 チームまでエントリー可(男子・女子・男女混合)、年齢層組分けなし。 セパレートレーンを厳守できる選手。	<p>1 チーム 6 名まで登録可。 大会当日、招集場所でリレオーダー用紙を提出して下さい。</p> <p>リレオーダー用紙については、登録時のメンバーは2名以上含まれていることとし、登録者以外が出場する場合は、他の陸上競技種目に出場していること。</p> <p>男女混合チームの出場者には必ず女子を1名以上含むこと。</p>
	走り幅跳び	1団体男女各2名以内。	<p>砂場～踏切板までの距離を選択してください</p> <p>自己記録のある方は入力ください</p>

	立ち幅跳び	1団体男女各2名以内。	自己記録のある方は入力ください
	走り高跳び	1団体男女各2名以内。 90 cm以上の高さが跳べること	自己記録のある方は入力ください
	ソフトボール投げ	1団体男女各2名以内。	自己記録を入力下さい。自己記録がわからない場合は、空欄でけっこうです。
	ジャベリックスロー	1団体男女各2名以内。	自己記録は、競技のグループ分けを行う際の参考として使用します。
フ ラ イ ン グ デ ィ ス ク	ディスタンス	一人 3 投 飛んだ距離を競う	立位、座位を選択
	アキュラシー ディスリート5	5m先のゴールめがけて 10 投	立位、座位を選択
	アキュラシー ディスリート7	7m先のゴールめがけて 10 投	立位、座位を選択
ボ ウ リ ン グ	通常エントリー	1団体、原則として5名以内。 デュアルレーン方式(アメリカンスタイル)でプレーができる方。(ボールラック(ボールが返ってくるところ)を挟んだ2つのレーンを 1 フレーム毎に交互に投球すること) アベレージ(1 ゲームあたりの平均得点)を記入してください。アベレージは、レーン分けの参考として使用します。	アベレージのわからない方は、空欄にしてください。
	オープンエントリー (オープン種目)	1団体、原則として5名以内。 楽しんでプレーできる方 支援・見守り者を配置してください	ノーガーターレーン使用。 その他配慮が必要な場合は特記事項に入力のこと。 エントリー数、上限40名まで
水 泳	25m 自由形	25mを泳ぐことができる方	スタート方式、配慮してほしい事項を特記事項に選択・入力のこと。 エントリー時に誓約書に同意のこと。
	50m 自由形	50mを泳ぐことができる方	
	25m 平泳ぎ	25mを規定の泳法で泳ぐことができる方	
	50m 平泳ぎ	50mを規定の泳法で泳ぐことができる方	
	25m 背泳	25mを規定の泳法で泳ぐことができる方	
	50m 背泳	50mを規定の泳法で泳ぐことができる方	
	25m バタフライ	25mを規定の泳法で泳ぐことができる方	
	50m バタフライ	50mを規定の泳法で泳ぐことができる方	
	200mリレー	1 団体 1 チームまで(男女混成可)のエントリーとする。	1 チーム 6 名まで登録可。 大会当日、受付でリレオーダー用紙を提出して下さい。

卓球	男女別にエントリー	トーナメント戦は行わない (R7 年度より) 競技レベルを選択すること
バレーボール	男女別にエントリー 選手登録は 12 名以内とする。 リベロ採用時はユニフォームを区別すること	監督・コーチ(3 名以内)も登録のこと。 参加申込書をフォームに添付すること。 主将・背番号を入力すること
バスケットボール	男女別にエントリー 選手登録は 12 名以内とする。 ユニフォームのないチームはビブスを着用のこと。	監督・コーチ(3 名以内)も登録のこと。 参加申込書をフォームに添付すること。(主将を明記) 大会当日、本部にメンバー表を提出すること。
ソフトボール	男・女・男女混合ごとにエントリー チームごとに選手登録は 15 名以内とする。	選手の性別・ポジション・主将・背番号を記入のこと。 監督・コーチ(3 名以内)も登録のこと。 参加申込書をフォームに添付すること。
サッカー	男・女・男女混合ごとにエントリー チームごとに選手登録は 16 名以内とする。 すねあてをを全員着用のこと。	監督・コーチ(3 名以内)も登録のこと。 参加申込書をフォームに添付すること。

第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会
競技規則(陸上競技)

1 競技規則

本規則に定める以外は「全国障害者スポーツ大会競技規則集(公益財団法人日本パラスポーツ協会編)」及び別に定める実施要領によるものとする。

2 招集

(1) 招集は競技開始予定時刻を基準として、原則として次のとおりとする。

招集開始(30分前) → **招集完了(20分前)** → **競技開始**

(2) 招集の方法

ア 競技者は、競技開始予定時刻の30分前から20分前までに点呼を受ける。

点呼は競技番号および聴覚障害者の名前の掲示と音声で行う。

イ 点呼を受けた競技者は、競技役員の指示に従い整列して誘導を待つ。

ウ 招集完了時刻に遅れた競技者は棄権したものとみなし、競技に出場することができない。

エ リレーの走者はリレーオーダー用紙(招集場所で提出)に記載の選手とする。

3 介助者・伴走者

(1) 介助者、伴走者として入場を希望する者は、あらかじめ主催者の許可を受けなければならない。

(2) 介助者、伴走者は、競技役員の指示に従うものとし、競技場内では競技者の競技上有利になるような助言等をしてはならない。競技役員から注意・警告を受け、聞き入れない場合は、当該競技者を失格とする。

(3) 伴走者はゴール前では選手の前に出てはならない。

(4) 視覚障害者の競走競技のうち障害区分24の50m競走以外は伴走者を付けることができ、その場合には紐等(非伸縮性のもので競技者と伴走者の間が50cm以内となるもの)を必ず持ち、スタートからゴールまで離さないこととする。

(5) 聴覚障害者が出場する競技で音声の指示等がある場合は、情報保障者(要約筆記者、手話通訳者)が入場し情報保障を行う。

4 競技方法

(1) 種目共通

ア トラック競技の走路順または競技順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載順とする。

イ 障害区分別に競技するが、参加人数により他の障害区分と同時に進行する場合がある。

(2) 競走競技

ア スタートは400mまでの競走(4×100mリレーを含む)は「On your marks(オン/ユア/マークス)」「Set(セット)」の言葉を、800m以上の競走は「On your marks(オン/ユア/マークス)」の言葉を用いる。

イ 聴覚障害選手がいる競技は、音声指示以外に光で知らせる機器の使用、スターターピストルと同時に旗を振りあげるなど、合理的配慮を行う。

- ウ 不正スタートは1回のみとし、その後の不正スタートはすべて失格とする。スタート時の静止状態については障害内容に配慮するものとする。聴覚障害選手に対しては、不正スタートであったことをコース前方から旗で伝えて制止する。
- エ トラック競技で他の競技者を妨害した場合は、その競技者を失格とする。なお、この場合も再レースは行わず、レースは成立したものとする。

オ 車いす使用者以外

- (ア) 50m競争はブロック使用不可、スタンディングスタートとする。
- (イ) 50m、100m、200m、400m競走及び4×100mリレーはセパレートレーンで行う。800mは、セパレートレーンでスタートし、100m経過地点に引かれる「ブレイクライン」からオープンとする。
- (ウ) 競走競技については、以下の制限時間が厳守可能な者を参加可能とする。
制限時間を超過した場合は競技者を制止する場合がある。

(50mは除く)

	男子	女子
100m	16秒以内	18秒以内
200m	40秒以内	50秒以内
400m	2分以内	2分30秒以内
800m	4分30秒以内	5分30秒以内
1500m	8分以内	10分以内

- (エ) 視覚障害者の50m競走に出場する競技者が使用する音源は、ハンドマイクに収納した音響(電子音)を用いる。
- (オ) 視覚障害者(障害区分24)はアイマスクまたはアイシェードを装着して競技することとする。

カ. 車いす使用者

- (ア) セパレートコースで行う種目は、50m・100mとし、その他の種目はオープンコースとする。ただし、レーサー用車いす使用者に限り、200mはセパレートコースとする。
- (イ) 投てき競技(ジャベリックスロー・ソフトボール投)は円盤投げサークルを使用できる。
- (ウ) レーサー用車いす使用者は、安全のためヘルメットを必ず着用すること(他の車いす使用者も、安全のためヘルメットの着用を奨励する)。

(3) 跳躍競技、投てき競技

- ア 視覚障害者以外の走幅跳の踏切エリア1mもしくは2mとし、選手が選択する。なお、視覚障害者(障害区分24、25)の踏切エリアは1mとする。
- イ 視覚障害者の走幅跳及び投てき競技については、必要に応じて競技役員または競技補助員が方向を指示する。
- ウ 走高跳のバーの最初の高さは、競技者の参加申込時の申告を参考に、障害区分ごとに決定する。バーの上げ方は、参加競技者の状況に応じて競技役員審判長が決定する。
- エ 走幅跳、立幅跳は、踏切板から踏切足が出た場合は無効とする。
- オ 投てき競技の試技回数は原則として3回とし、運営上、連投もある。

力　聴覚障害者が出場する跳躍、投てき競技で競技中の音声による指示や記録の読み上げがある場合は、競技役員、または競技補助員が可能な限り文字で表示して伝える。または、状況に応じて情報保障者が選手に伝える。

5 競技の服装

- (1) 競技を行うときは、競技用の服装を着用しなければならない。
- (2) 素足での競技参加は、禁止する。（革靴等、競技にふさわしくない靴の使用も禁止する。）
- (3) 競技に使用するスパイクシューズは、陸上競技用のものとする。スパイクピンは全天候用とし、その長さは、9mmを超えてはならない。また、走高跳、ジャベリックスロー及びソフトボール投の場合には12mmを超えてはならない。ただし、靴底の厚さの規定は適用しない。なお、障害により補装具等を使用している場合は、この限りではない。

6 その他

- (1) 各審判員の指示に従うこと。
- (2) 各種目の組を必ず確認すること。
- (3) 競技場所には、許可された介助者以外は立ち入ることができない。
- (4) 競技の進行が遅れないようにすること。

第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 競技規則(水泳)

1 競技規則

本規則に定める以外は、「全国障害者スポーツ大会競技規則集(公益財団法人日本パラスポーツ協会編)」及び別に定める実施要領によるものとする。

2 招集

(1) 招集は、競技開始予定時刻を基準として、原則として次のとおりとする。

招集開始(30分前) → 招集完了(15分前) → 競技開始

(2) 招集の方法

ア 競技者は、競技開始予定時刻の30分前から15分前までに点呼を受ける。

イ 点呼を受けた競技者は、競技役員の指示に従い、整列して誘導を待つ。

ウ 招集完了時刻に遅れた競技者は棄権したものとみなし、競技に出場することができない。

3 介助等

(1) 介助者として競技場への入場を希望する場合は、参加申込時に申込みを行うこと。

(2) プールサイドにおけるコーチは禁止する。

4 競技方法

(1) 自由形、平泳ぎ、バタフライ及び200mリレーのスタートは、台上、台の横からの飛込み、または水中スタートを選択できる。

(2) 次の障害区分の者は、スタートの際、必要であれば競技役員または許可された者が、身体を支えるだけのために補助をしてもよい。この場合、競技者を支えている者は、スタートの勢いを与えてはならない。

【障害区分11・13・17・19・22】

(3) スタートの合図は、イングリッシュコールで行う。

(4) 障害区分23の者及び同等の障害が重複する者のゴールとターンでは、競技役員または許可された者が安全な棒などを使って身体をたたいて合図しなければならず、障害区分24の者には行うことができる。

(5) 障害区分23は光を通さないゴーグルを着用することとするが、光を通すゴーグルを着用する選手はオープン競技として参加を認める。

5 その他

(1) 写真、ビデオ等の撮影は原則禁止とする。

(2) 全国大会ではFINAの公認した水着を着用する必要があるが、県大会ではその限りでない。

(3) 全ての泳法で、競技中レーンロープを握ったり、プールの底に立つことを認める。

第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 競技規則(一般卓球、STT)

1 競技規則

本規則に定める以外は、「全国障害者スポーツ大会競技規則集(公益財団法人日本パラスポーツ協会編)」及び別に定める実施要領によるものとする。

2 招集

試合開始前に試合を行うコートを確認のうえ、可能な限り自コート付近で待機するものとする。

3 視覚障害区分の種目

視力・視野の程度を問わずアイマスクまたはアイシェード(以下、「アイマスク等」という。)装着の有無で種目を区分し、アイマスク等無しは一般卓球、アイマスク等有りはSTTに出場する。

4 競技方法等

(1) 一般卓球

- ア 原則として5ゲームマッチ(1ゲーム11本)で、3ゲーム先取とする。
- イ 試合はすべてシングルスとする。なお、原則としてリーグ戦方式で行う。
- ウ 各ブロックは、原則として4名以内とし、同一の障害区分及び年齢区分の選手で構成する。
- エ ブルーの卓球台及びホワイトかつ直径40mmの公式球を使用する。
- オ 肢体不自由者及び知的障害者については、フリーハンド(ラケットを持っていない手の手首より先)がコートに触れても失点としない。ただし、コートを支えて打ったり、テープルを動かしたりしてはならない。
- カ 身体的理由によるサービスの緩和は、主審の承認を得ればよいこととする。

(2) サウンドテーブルテニス

- ア 3ゲームマッチで、2ゲーム先取とする。
- イ 試合はすべてシングルスとする。なお、トーナメント方式・リーグ戦方式の試合形式については、参加者数の状況を見て判断する。
- ウ 均一の濃色又は白色の卓球台及び全国障害者スポーツ大会競技規則集に定められたボールを使用する。
- エ アイマスク等を着用すること。なお、アイマスク等は、各自がそれぞれ準備し、試合開始前に審判員がこれをチェックする。
- オ 競技領域は、長さ8m、幅6m以上とする。

5 服装

原則として、J.T.T.A.公認のものを着用すること。ただし県大会では未公認のものであっても白色(STTはオレンジ)以外の服装であれば着用を認める。

第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 競技規則(フライングディスク)

1 競技規則

本規則に定める以外は、「全国障害者スポーツ大会競技規則集(公益財団法人日本パラスポーツ協会編)」及び別に定める実施要領によるものとする。

2 招集

(1) 招集の流れは、競技開始予定時刻を基準として、原則として次のとおりとする。

招集開始(20分前) → 招集完了(10分前) → 競技開始

(2) 招集の方法

ア 競技者は、競技開始予定時刻の20分前から10分前までに点呼を受ける。

イ 点呼を受けた競技者は、競技役員の指示に従い、整列して誘導を待つ。

ウ 招集完了時刻に遅れた競技者は棄権したものとみなし、競技に出場することができない。

3 介助者

(1) 介助者として入場を希望するものは、あらかじめ主催者の許可を得なければならない。

(2) 介助者は、競技役員の指示に従うものとし、競技者の競技上有利になるような助言等をしてはならない。

4 競技方法

(1) 競技は、競技役員の指示により進行する。

(2) 競技用ディスクは、日本フライングディスク協会公認及び推奨品(日本障害者フライングディスク連盟公認を含む)の「ファストバックモデル」ディスクで、直径23.5cm、重量100±5gとする。

(3) 競技は、アキュラシーとディスタンスを行う。

(4) アキュラシー

ア 競技種目は、ディスリート・ファイブとディスリート・セブンからなる。

イ プレーヤーは、10回連続して試技するものとする。

ウ プレーヤーが視覚障害者の場合は、競技役員がアキュラシーゴール後方3mの距離から何らかの音源でスローイングの方向を知らせることができる。

エ 順位は、得点の多さで決定する。同得点の場合は、第1得点を先に挙げた者を上位とする。第1得点が同じ場合は、順次、得点を挙げた者を上位とする。

この方法によっても順位が決定しない場合は、1セット(3投)の再投(追加試技)を行い、得点の多さで順位を決定する。ただし、4位以下の者で同得点の場合は、再投は行わず同順位とする。再投は、順位が決定するまで、最大5セットまで行うが、それでも順位が決定しない場合は、同順位とする。

なお、運営上の都合により再投は行わない場合がある。

(5) ディスタンス

- ア 競技種目は、座位女子(レディース・シティング)、座位男子(メンズ・シティング)、立位女子(レディース・スタンディング)及び立位男子(メンズ・スタンディング)からなる。
- イ 大会運営上、テストスローは行わない場合がある。
- ウ 試技は3回連続して行うものとする。
- エ 記録は、3回の試技で最も距離の遠い着地点を計測する。なお、同記録の場合、1位、2位、3位は1投の追加試技により決定する。追加試技は順位が決定するまで行う。4位以下の者が同記録の場合は、追加試技は行わず同順位とする。追加試技の記録は公式記録としない。なお、運営上の都合により再投は行わない場合がある。

第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 競技規則(ボウリング)

1 競技規則

本規則に定める以外は、「全国障害者スポーツ大会競技規則集(公益財団法人日本パラスポーツ協会編)」及び別に定める実施要領によるものとする。

2 招集

(1) 招集の流れは、開始式予定時刻を基準として、原則として次のとおりとする。

受付完了(20分前) → 招集完了(10分前) → 開始式

(2) 招集の方法

ア 競技者は、開始式予定時刻の20分前までに受付を済ませる。

イ 受付を済ませた競技者は、競技役員の指示に従い、ゲームを行うレーンの付近で開始を待つ。

ウ 招集完了時刻に遅れた競技者は棄権したものとみなし、競技に出場することができない。

3 競技方法

(1) 競技参加 (全国大会の県予選の対象)

ア 試合は、個人戦とする。

イ 試合の方法は、デュアルレーン方式(レーンを交互に替えて投げる)で行う。

ウ 競技は、スクラッチ(ハンデなし)2ゲームとし、その合計点により順位を決定する。

エ 隣り合ったレーンで、同時に投球姿勢に入った場合は、右側レーンの選手を優先する。

(2) オープン参加 (全国大会の県予選の対象外)

ア 試合は、個人戦とする。

イ 試合の方法は、ヨーロピアン方式(1つのレーンで投げる)で行う。

ウ 競技は、スクラッチ(ハンデなし)2ゲームとし、その合計点により順位を決定する。

エ バンパーを使用しての試合とする。

オ 投球補助台の使用を認める。

第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 競技規則（ボッチャ）

1 競技規則

本規則に定める以外は「全国障害者スポーツ大会競技規則集(公益財団法人日本パラスポーツ協会編)」及び別に定める実施要領によるものとする。

2 招集

試合開始前に試合を行うコートを確認のうえ、定められた場所で待機するものとする。大会前にボール検査（直径・重さ）を実施する場合がある。

競技アシスタントは車いすおよびランプ操作のみ可、会場には選手、競技アシスタント及びランプオペレーター以外原則入場不可。ボックス内にボールを置くための台は設置可。

3 競技方法等

(1) 試合形式

ア 1体1の個人戦を2エンドで行う。2ゲームマッチで合計得点の多いほうを勝者とする。

イ 赤ボール（先行）は3番、青ボールは4番のボックスに配置。

ウ リーグ戦方式で原則として各ブロックは5名以内とし、座位と立位の区別をする。

エ 試合の前に2分間又は6球の投球練習をすることができる。

(2) 持ち時間

ア ジャックボールを含めた投球時間の合計は1エンドあたり5分とする。

イ タイブレイク（ファイナルショット制度）及びペナルティは1分とする。

(3) 違反行為

ア ラインを踏む、もしくはボックスの外に足や装飾具が設置した状態で投球する。（スローイングラインはランプも越えてはならない）

イ 審判の指示がある前に投球する。

上記の行為についてはリトラクション（ボール除去）となる。

ウ ランプオペレーターが試合中にコートを見たり、競技に介入したとき。

エ 相手サイドの待ち時間中に、車いすまたはランプを調整したり、ボールに触ったりしたとき。

上記の行為は、審判の注意とする。

4 服装

(1) 主催者が交付した番号布（桃色）に氏名・番号等を記載し、競技用服装の前部および背部につけること。

5 その他

(1) 競技場内へは主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。

(2) 当日の朝、受付は時間内に済ませること。原則として受付及び招集に遅れた選手は棄権

とみなす。

- (3) 選手控室はないため、貴重品等は各自が責任を持って管理すること。
- (4) 参加人数等により試合形式を変更する場合がある。
- (5) マイボールは使用できる。

第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 競技規則(バスケットボール)

1 競技規則

本規則に定める以外は、「全国障害者スポーツ大会競技規則集(公益財団法人日本パラスポーツ協会編)」及び別に定める実施要領によるものとする。

2 チーム

- (1) チームの構成は、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、選手12名以内とする。ここでいうコーチとは、ゲーム中、実際にチームを指揮する者を指す。
- (2) コーチ、アシスタントコーチ、又はマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合、選手の数は選手を兼ねるコーチを含めて12名以内とする。
- (3) ユニフォームを持たないチームは、主催者の用意するビブスを着用する。
- (4) 男女別にチームを構成する。

3 競技方法

- (1) 試合は、原則として男女別にトーナメント戦方式で行う。
- (2) 試合時間は、10分クオーター制とし、第1ピリオドと第2ピリオドの間及び第3ピリオドと第4ピリオドの間にそれぞれ2分のインターバルをおく。また、第2ピリオドと第3ピリオドの間に10分のハーフタイムをおく。

4 競技者の服装等

背番号は、4から15までの番号を使用し、審判とスコアラーにはっきりと分かるように付けること。

5 試合球

試合球は、公益財団法人日本バスケットボール協会主催大会公式試合球とし、男子は7号球、女子は6号球とする。

第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 競技規則(ソフトボール)

1 競技規則

本規則に定める以外は、「全国障害者スポーツ大会競技規則集(公益財団法人日本パラスポーツ協会編)」及び別に定める実施要領によるものとする。

2 チーム

- (1) チームの構成は、監督1名、コーチ2名以内、選手15名以内とする。
- (2) 監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督及びコーチを含め15名以内とする。
- (3) 男女混合のチーム構成も可とする。

3 競技方法

- (1) 試合はトーナメント方式とし、3位決定戦を実施する。
- (2) 試合は5回までとし、試合開始後60分を経過した後は、新しい回に入らない。原則として、同点の場合は2回まで15分以内で延長し、それでも勝敗が決しない場合は、最終出場選手9名の守備位置順による抽選により決する。ただし、決勝戦の延長は勝敗が決するまで行う。
- (3) コールドゲームは3回終了後10点差、降雨・日没等は3回終了で有効とする。
- (4) 試合球は、検定3号ボールとする。
- (5) 競技場のフェア地域及び塁間距離と投球距離は、女子の規格に準じる。
- (6) ファーストピッチにより行う。
- (7) パスボール、振り逃げ、スクイズバントは適用しない。
- (8) 盗塁が行われたとき、該当する走者はアウトとする。
ア ピッチャーが投球したボールが、ホームベースを通過した時点でボールデッドとし、盗塁、キャッチャーからの牽制、暴投による進塁など、その後のプレーは成立しない。
イ ランナーが帰塁を故意に遅らせた場合は、審判団から厳重に注意をし、再度繰り返す場合は、審判団の判断で遅延行為によりランナーをアウトとする。
- (9) ホームランゾーン(60m)を設定する。また、ゴロでホームランゾーンを超えた場合は、エンタイトル2ベースとする。
- (10) 指名選手(DP制)、再出場(リエントリー制)を採用する。

4 競技服装等

- (1) 打者、打者走者、走者、次打者席内にいる次打者及び一・三塁のベースコーチは、両耳あてのある同色のヘルメットを着用する。また、捕手は、スロートガード付マスク、捕手用ヘルメット、ボディプロテクター及び膝当て付きレガースを着用する。

(2) 金属製のスパイクは禁止する。

5 その他

- (1) 試合ごとに、打順表を試合開始30分前に主審に提出する。
- (2) その他、競技に関する取り決めは、協議により決定する。

第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 競技規則(バレーボール)

1 競技規則

本規則に定める以外は、「全国障害者スポーツ大会競技規則集(公益財団法人日本パラスポーツ協会編)」及び別に定める実施要領によるものとする。

2 チーム

- (1) チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名以内とする。
- (2) 男女別にチームを構成する。

3 競技方法

- (1) 試合は、原則としてトーナメント方式とし、3位決定戦を行う。
- (2) 全試合3セットマッチとする。
- (3) 1セット25点のラリーポイント制とし、2セットを先取したチームを勝ちとする。なお、得点が「24対24」の同点となった場合、それ以降は2点リードしたチームがそのセットの勝者とする。
- (4) 第3セットは25点制で行い、コートの交代はいずれかのチームが13点先取した時に行う。
- (5) ネットの高さは、男子2.30m、女子2.15mとする。
- (6) 試合は、ワンボールシステムで行う。

4 競技服装

- (1)背番号は、1番から12番までが望ましい。やむを得ない場合は、1番から99番までとする。
- (2)リベロプレーヤーを採用する場合は、他の競技者と明確に区別できるユニフォームを着用すること。

5 試合球

(公財)日本バレーボール協会検定球5号球(人工皮革・カラーボール)とする。

第20回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 競技規則(サッカー)

1 競技規則

本規則に定める以外は、「全国障害者スポーツ大会競技規則集(公益財団法人日本パラスポーツ協会編)」及び別に定める実施要領によるものとする。

2 チーム

- (1) チームの構成は、監督1名、コーチ2名及び選手16名以内とする。
- (2) 監督、コーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合、選手の数は選手を兼ねる監督、コーチを含めて16名以内とし、それ以外の者は試合会場には入れない。
- (3) 男女混合のチーム構成も可とする。

3 競技方法

- (1) リーグの種類及び競技方法は次のとおりとする。

ア Aリーグ(11人制)

前後半15分ずつでハーフタイムを5分間設ける。

勝ち点方式による試合を行う。

勝ち3点、引き分け1点、負け0点とする。勝ち点が同点の場合は、得失点差、総得点の順に判断し、それでも決定しない場合は、3人ずつのPKにより決定する。

イ Bリーグ(8人制)

前後半12分ずつでハーフタイムを5分間設ける。

予選リーグ戦を行い、合計勝ち点が多い各1位チームが決勝、2位チームが3位決定戦に出場する。

勝ち点が同点の場合は、得失点差、総得点、直接対決の順に判断し、それでも決定しない場合は、抽選により決定する。

決勝戦、3位決定戦は延長なしで、3人ずつのPKにより決定する。抽選はしない。

ウ Sリーグ(8人制)

前後半10分ずつでハーフタイムを5分間設ける。

予選リーグ戦を行い、合計勝ち点が多い各1位チームが決勝、2位チームが3位決定戦に出場する。

勝ち点が同点の場合は、直接対決、得失点差、総得点、の順に判断し、それでも決定しない場合は、抽選により決定する。決勝戦、3位決定戦は延長なしで、3人ずつのPKにより決定する。抽選はしない。

エ ただし、参加チーム数によってはトーナメント方式で行う等、主催者側によって上記ア～ウの内容より変更する場合がある。

- (2) 試合球は、公益財団法人日本サッカー協会検定5号球とする。
- (3) 選手の交代については、自由な交代とし、交代して退いた選手が交代要員として再び出場することができる。
- (4) ベンチには名簿に登録された監督1名、コーチ2名、選手16名（1チーム最大19名）までが入ることができるが、安全管理上必要な場合を除き、保護者・施設・学校関係者を含めそれ以外の者はグラウンド内の立ち入りを禁止する。

4 競技服装等

- (1) 危険防止用にすねあてを着用する。（厳守）